



発行所
日本共産党東部地区
岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5
22-2245

7月号

市議会議員
大西 明子
山田 泰之
坪田 恵子



お読みください
日刊 月 3400円
日曜版 月 800円

山田議員の一般質問

危険なオスプレイ 岩国陸揚げ反対

回でもよくなりました。
爆発事故が多発する背景に
規制緩和があるのです。
大西議員は年1回の保安検査を実施するよう国・県に要請するよう求めました。

地域経済への影響については、
プラントの再開が長期化し、
休業や失業が心配されている。
企業に社会的責任を果たすよう
求めると同時に行政も雇用対
策、支援対策等に取り組み、窓
口を設けて対応するよう求めま
した。

MV・22オスプレイの岩国
基地への陸揚げ・一時駐機につ
いて、新聞報道を基に「岩国
市の担当者が防衛省に向いて
前向きに協議」「1ヶ月前から
協議していた」と報道されてい
ることについて事実確認を行
い、これが事実としたら問題だ
と強く迫りました。

答弁は「市民の安全の確保
の観点から適切に対応」と
はつきり反対と声明しませ
んでした。
その後、市長はアメリカで
オスプレイの墜落事故があり
「岩国基地」への陸揚げに反対
を表明いたしました。

大西議員の一般質問

爆発事故による問題点6項目を指摘

日本共産党は、富裕層や大企業に応分の負担を求めると共に、
国民の所得を増やす経済改革を同時並行で進めることにより、社
会保障の再生・充実を図り、財政を再建していく道を提案してい
ます。消費税増税に頼らない道に踏み出すべきです。

保安検査を毎年実施するこ
と。

岩国大竹コンビナーと地区
内の高圧ガスプラントの
総点検を各社が実施する
こと。

岩国・大竹工場の検査周期
の実態を明らかにするこ
と。

劣化ウランの保管につい
て、地下に移設等の安全対
策を早急に実施すること。
周辺住民に対して説明会を
開催すること。

地域経済の影響について。

高圧ガス施設での火災や爆
発漏えいなどの事故が20
00年98件が2011年
の439件と12年間で4倍に
増えています。

「高圧ガス保安法」が179
6年規制緩和され「特定事業
者」は年1回の都道府県による
「保安検査」に代わって
事業者ごとに「自主検査」が
でき、「検査周期延長」も認め
られ、2年に1回、4年に1

住宅リフォーム

助成事業実施

住宅リフォーム助成事業に
ついては、応募開始2日目の
午前中に、3千万円の予算に
達するほどの好評で担当者も
驚いている。

岩国市は9月議会で補正予算
3千万円を計上したいとして
います。

さらに防衛省はオスプレイは
しきりに「安全性が確認されて
いる航空機である」と強調して
いる。

09年6月23日の米下院監視・
政府改革委員会、アーサー・
レックス・リポ氏は、MV・2
2はオートローテーション能
力を欠いている。「このことは
製造メーカーも海兵隊も承知
している」と証言、また、連邦
航空局(FAA)は、「民生用輸
送機なら安全航行要件を満たし
ていない。軍用機には適用され
ない」とこのことを紹介し、オス
プレイの陸揚げ・試験飛行に反
対するよう求めました。

混乱・誤解を招く 歴史教科書

歴史教科書

今年の中学1年生から実施
される社会科の教科書・育鵬
社の「新しい日本の歴史」の記
述について、例えば、本文で
は、「4月になると米軍は沖縄
本島に上陸」と記載し、コラ
ムでは、3月、アメリカの機動
部隊が沖縄に侵入「このよう
に同じ教科書で沖縄にかんす
る記述が、4月、3月」と異な
るのは教科書として混乱・誤
解を招くことについて、教育
長は「教科書の記述は文部科
学省の検定に合格している」

と強弁。

また、教師用指導書では「20世紀を代表する著名な歴史家が、どのような見方をしているかを確認させ、歴史を考える契

坪田議員の一般質問

放課後児童教室の 環境整備を行うこと

児童教室は、子どもたちにとって生活の場。健康や安全管理、養護も含めた基本的な生活が保障され、成長段階に見合った適切な働きかけや指導、援助が必要な施設です。

中でも、藤河と御庄の児童教室は早急に整備してください。中学校の空き教室を利用して藤河は老朽校舎で、「地震に耐えられるか心配」という声が出ています。

また、御庄は児童数の増加にもかかわらず、ランチルームの一角を仕切り利用しています。足の踏み場がないほど狭い中に詰め込まれています。市長は、現場を見て、早急に整備するよう求めました。

良好な生活環境を整え、安心安全な居場所づくりを進めるた

機にする」と書かれているが著名な歴史家とはどのような人と質しても答弁はできませんでした。

環境整備を行うこと

め、児童数の推移や保育のニーズ、施設の実態、学校や公的な施設の活用等も総合的に検討したうえで、施設整備計画も含め、関係機関と連携整備を図ると答弁しました。



JRのダイヤ改正で 市民が困っている

由宇駅から広島行き直通便が、朝・夕以外全くなりました。また岩国から下り列車の乗り換えの待ち時間も長くなり、苦情が出ています。元に戻すようJRに要望を。

鉄道利用者の利便性向上につながるダイヤの見直しを強く要望すると答弁。

TPPが 市民生活に及ぼす 影響は

日本では、遣伝子組換え食品には表示義務がありますが、米国はその表示を行わないよう要求しています。

消費者は、食の安全が脅かされえます。一般市民にとっては何ひとつメリットがないTPPに議会も反対の声を上げる時、市長の見解を質しました。

日本は国際社会の中で、一番厳しい基準の中でやっている。国に、その基準を守るようお願いすると答弁しました。

・六月議会に提案された

「意見書」6議案

・六月議会に議員提出6議案が提出され、それぞれ起立による採決が行われました。

「基地対策予算の増強等を求める意見書」「地方財政の充実・強化を求める意見書」「駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書」この3議案は全会一致で採択されました。

今、民生活に大きな関心を寄せている「岩国基地への新型輸送機MV・22オスプレイの陸揚げ・一時駐機に反対する意見書」には、前野、細見、石本議員が退席しました。

田村、大西、桑原議員が賛成討論を行い、議場出席議員全員で可決されました。

「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への拙速な交渉参加表明に反対する意見書」については、坪田(日本共産党)、渡辺(市民クラブ)の賛成討論、味村議員の反対討論で起立により採決、19対12で採択されました。

反対した議員は、越沢、河井、河本、桑田(公明党)、桑原、武田、味村、林、藤重(岩国クラブ)、縄田、前野、渡辺(岩国市政クラブ)。

「消費税大増税に反対する意見書」は、山田議員(日本共産党)が賛成討論を行い、大西、山田、坪田(日本共産党)田村(リベラル岩国)の賛成少数で否決されました。

なお、石本議員は退席、反対討論は渡(市民クラブ)河井(公明党)が行いました。